業務用生ごみ処理機
SPW-100 / SPW- 50

これからは生ごみをその場で処理する時代です。
水を使ってニオイを抑え、省スペースも実現。

SPW-50処理槽本体

バイロンなら生ごみを水と炭酸ガスに分解・減容して、環境負荷を独自の「常温ウェットバイオ式」を採用した業務用生ごみ処理機。

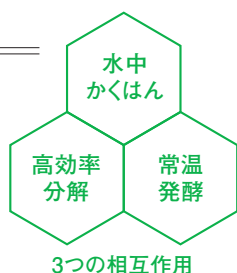
わが国の生ごみの総排出量は、年々増加傾向にある一方、最終処分場や埋め立て地には限りがあり、
また焼却によるダイオキシンやCO_2の発生なども世界的な問題となっています。こうした環境問題に対応するため、
2001年に「食品リサイクル法」が施行され、すべての食品関連事業者を対象に、生ごみの排出量削減が義務づけられました。
バイロンは、独自の「常温ウェットバイオ式」を採用した業務用生ごみ処理機により、食品廃棄物処理の様々な問題を解決します。

生ごみ処理機 / SPW-50処理槽本体

室内処理で無臭実績

バイロン独自の「常温ウェットバイオ式」とは…

「常温ウェットバイオ式」は、水中かくはん・高効率分解・常温発酵の3つの相互作用で生ごみをスピーディーに減容。
自然界と同じ循環システムにより生ごみを処理することが可能です。

3つの相互作用

エコロジークラスでいきましょう。

ごみ減量化 生ごみ減質量率90%前後※1

排出する生ごみを少なくすることで、地球への環境負荷を低減します。

近年、事務所や工場、お店などから排出されるごみ量は増加傾向にあり、今や地方自治体ではごみ焼却場の能力の限界や埋め立て地の不足など、問題は深刻です。
地球のため、環境のために生ごみの排出量を減らす意識と行動が求められています。

写真はSPW-50処理槽本体とディスポーザーユニットのセットを並列設置した場合のイメージです。生ごみ処理機処理槽本体とディスポーザーユニットの配置は、お客様の施設の形態によって異なります。

ディスポーザーユニット

生ごみ処理機・ディスポーザーユニットは
屋内・屋外共に設置できます。

生ごみ処理機の導入に踏み切れなかった問題点を、バイロンはすっきり解決しました。

手 間

Q.
「うちは長時間の営業だから、処理したあとの
廃棄作業を連続して行う。手間がかかって面倒だ。」

A.
**前処理（水切り）は不要、後処理も
簡単。お客様の手を煩わせません。**

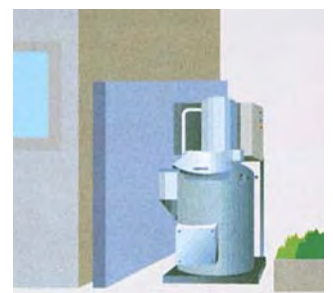
ニオイ

Q.
「レストランを経営しているのだが、生ごみの
ニオイで近隣から苦情を受けた。何とかならないか?」

A.
**分解能力の高い食品発酵バイオによる「常温
ウェットバイオ式」だからニオイを大幅に低減します。**

設置スペース

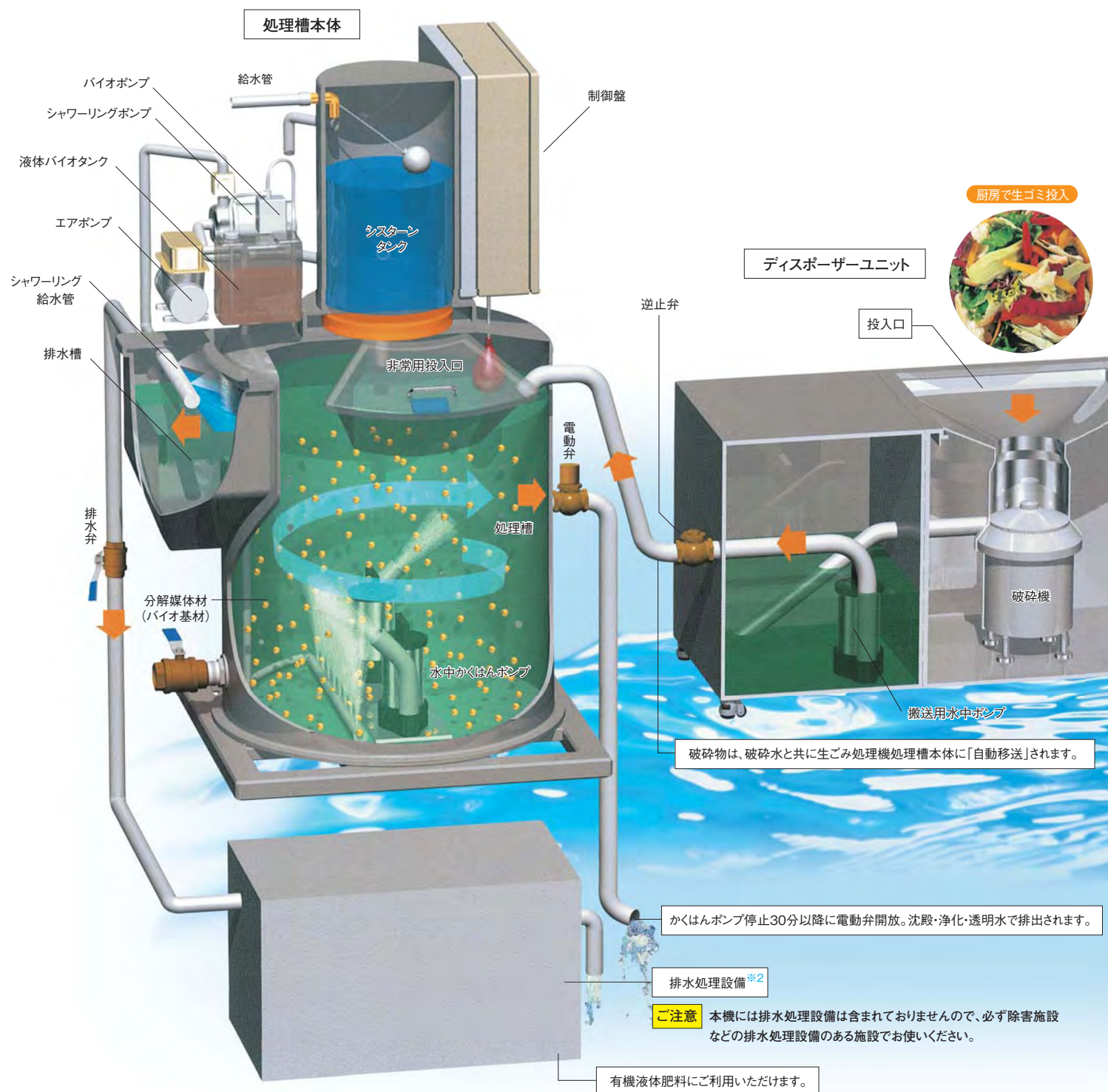
Q.
「業務用の生ごみ処理機は、スペースを取られる。
うちは、敷地に余裕がなくて設置が難しい。」

A.
約畳2枚分の設置面積。※2（SPW-50処理槽本体）
導入しやすい省スペース設計です。

サポート

Q.
「サポート体制はどうなの？　毎日使うものだし、
信頼できないと導入は難しいよ。」

A.
充実の保守メンテナンス制度※3**で、
信頼のサポート体制を実現します。**

※1 気温20℃で当社テスト用生ごみを処理した場合、24時間で90%前後生ごみを減量します。ただし、生ごみ処理機の使用環境(温度・湿度など)および投入する生ごみの成分、量によって減質量率は異なります。 ※2 生ごみ処理機処理槽本体単独設置の場合。 ※3 別途保守メンテナンス契約を結んでいただきます。

分解能力の高い「食品発酵バイオ」採用で、90%[※1]前後の減質量率を実現。気になるニオイを大幅に低減しました。

長時間の営業にも対応

連続処理が可能

自然界と同じ循環システムを取り入れたバイオ式のため、生ごみの連続投入が可能。必要に応じて処理することができるので、生ごみ保管時のニオイの発生を抑えられます。

汚れがつきにくく衛生的

清潔丈夫なFPR[※3]ボディ（処理槽本体）

船舶、自動車、鉄道、医療分野などにも幅広く使われているFRPボディを採用。強度が高く丈夫で腐食しにくいため、屋外への設置にも対応しています。

ディスポーザー

投入

生ごみを
細かく粉砕

自動搬送

発酵

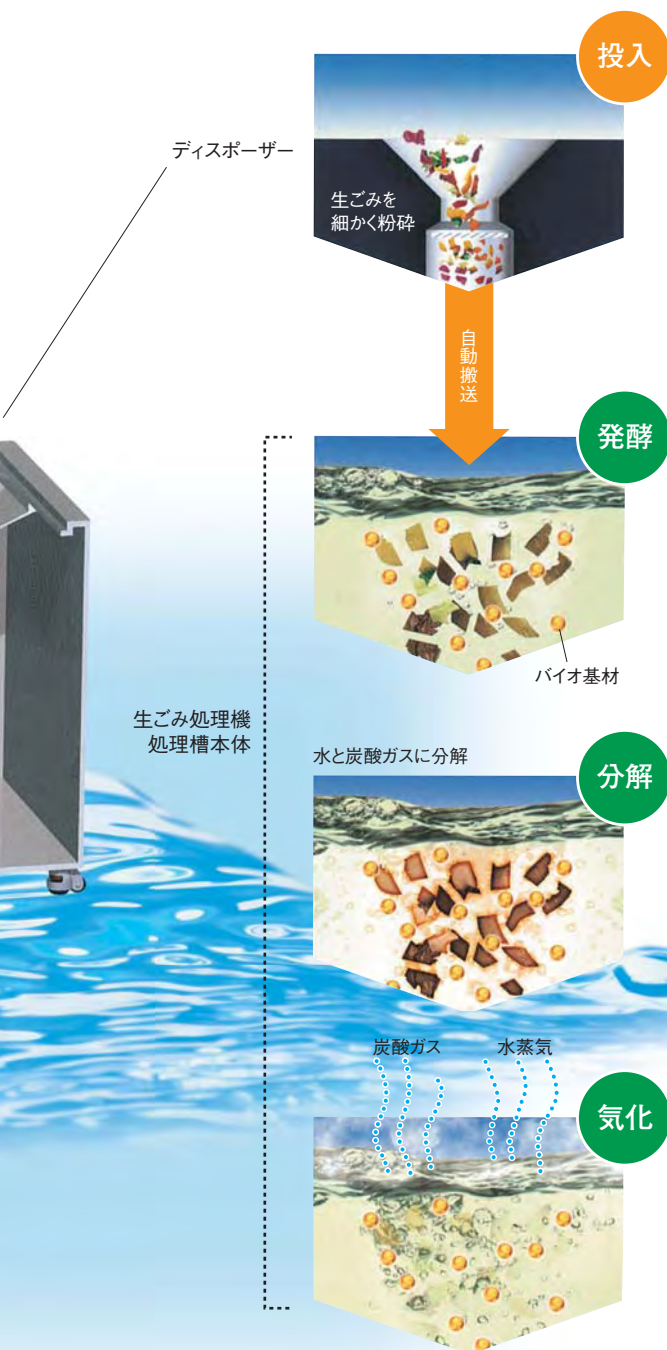
バイオ基材

生ごみ処理機
処理槽本体

水と炭酸ガスに分解

分解

炭酸ガス　水蒸気

気化

生ごみを細かく粉砕

ディスポーザーユニットを標準装備

厨房などの現場に設置しやすい省スペースタイプのディスポーザーを採用。細かく粉砕された生ごみは水と一緒に本体へ自動搬送され、簡単･スピーディーに生ごみ処理を行うことができます。

高い減質量率を実現

分解能力の高い「食品発酵バイオ」を採用

分解能力が高い液体タイプの「食品発酵バイオ」を採用。さらに、水中かくはんによる高効率分解を可能にすることにより、減質量率は沈殿分離方式では70%前後、浄化槽導入方式では90%前後[※1]です。

[減質量率]
沈殿分離方式 70%前後
浄化槽導入方式 90%前後 ※1

液体バイオタンク

生ごみを効率よく処理

長寿命バイオ基材を採用

バイオ基材の交換は1年に1回でOK。メンテナンスの簡易化とともに、ランニングコストの低減が可能です。

樹脂性バイオ基材

ニオイを大幅に低減

常温ウェットバイオ式を採用

独自の「常温ウェットバイオ式」を採用することにより、ニオイの大幅な低減を実現しました。都会などの密集地でも、周囲に影響を与えることなく生ごみ処理を行うことが可能です。

導入のしやすさを追求

省スペース設計

生ごみ処理機本体はもちろん、ディスポーザーも省スペース設計を採用。スペースに限りのある厨房や都会などの密集地でも無理なく設置でき、導入のしやすさを追求しています。

外形寸法	SPW-100	SPW-50	ディスポーザーユニット*
幅（mm）	1,720	1,290	1,370
奥行（mm）	1,610	1,250	650
高さ（mm）	1,840	1,840	950

＊逆止弁、投入口カバー含む

イラストはSPW-50処理槽本体とディスポーザーユニットのセットを並列設置した場合のイメージです。
※1 気温20℃で当社テスト用生ごみを処理した場合、24時間で90%前後生ごみを減量します。ただし、生ごみ処理機の使用環境（温度・湿度など）および投入するごみの成分、量によって減質量率は異なります。
※2 当カタログに掲載されている製品は、除害施設などの排水処理設備のある施設でお使いください。※3 Fiber Reinforced Plasticsの略。処理槽本体に採用。

バイロンならではの信頼のシステムでお客様をサポート。

らくらくメンテナンスを実現

日々の処理物の廃棄が不要※1

高い減質量率で、日々の処理物の廃棄作業が不要※1です。
残った処理物と投入異物は、保守メンテナンス時に撤去作業を行いますので、お客様の生ごみ処理にかかる手間を大幅に削減することができます。

チェックシートを採用

生ごみの種類に応じてきめ細かく対応

バイロンの生ごみ処理機をお使いいただく前に、まず、チェックシートでお客様の生ごみの内容を判断。処理能力の選定を行うことで、より効果的な生ごみ処理を実現します。

各種メンテナンスはお任せ

保守・管理の手間がいらない

バイオ基材の交換、液体バイオの補充、異物の撤去などの各種メンテナンスは保守メンテナンス契約先にご相談ください。熟練のスタッフと充実のサポート体制により、信頼してお使いいただける環境をお届けしています。

■別売品

品　　名	補充用液体バイオ※2	交換用バイオ基材※2	
型　　式	NZ-1000WB	NZ-1000WM	NZ-500WM
希望小売価格	オープン価格	オープン価格	オープン価格
適合機種	SPW-100（2個使用） SPW-50（1個使用）	SPW-100	SPW-50
備　　考	約2ヶ月に1回補充	約1年に1回交換	約1年に1回交換

※1保守メンテナンス時に、異物とともに残った処理物を撤去します。 ※2当社指定の液体バイオ・バイオ基材以外のものをご使用になった場合は、性能・品質などの保証ができませんのでご留意ください。

・この他、トン単位までの機種があります。お問い合わせください。

投入できるもの

○肉類・魚類　○ごはん・めん類・パン類
○天ぷら　○野菜・果物くず　○魚・鶏の骨類
○カニ・エビの殻　○卵の殻
○野菜・果物の皮※　○茶殻
○その他、一般的に人間が食べられるもの

※野菜や果物の皮類は、自然的耐候性により分解までに数日以上かかることがあります。

投入できないもの

○貝殻類　○牛・豚・鶏などの大きな骨類　○桃・梅干しなどの硬い種子類
○たまねぎの外皮・とうもろこしの外皮・たけのこの外皮　○餅類
○油・液体類（食用油・みそ汁・調味料・清涼飲料水・牛乳・ヨーグルトなど）
○多量の塩・油脂・米ぬか・みそ　○酒類（酒・アルコール）
○プラスチック類　○ゴム・ラップ類　○紙類　○金属類　○繊維類
○木片類　○陶器・ガラス類　○薬品・洗剤類　○たばこ
○花・落ち葉などの植物　○土・砂類　○ペットなどのふん　○石油類など
○その他、一般的に人間が食べられないもの

学校

常時運転状況を監視するシステムもご用意しており、安全性の高い運転を実現します。

給食センター

ニオイが少ないため、周辺環境へもしっかりと配慮。快適な環境を保てます。

病院

院内を清潔に保ち、ニオイを大幅に削減。保守・管理の手間とコストも減らせます。

福祉施設

介護という観点からも、衛生管理は大切。保守・管理の手間も削減できます。

レストラン

都会では、ニオイの対策と共に設置場所も大きな問題。狭い場所での設置が可能です。

旅館・ホテル

季節やイベントによる排出量の変動や生ごみの種類にも対応できます。

食堂

省スペース設計なので、設置場所の選択肢が広がります。

食品加工工場

高い分解能力と連続投入により、大量に発生する生ごみ処理の大幅な効率化が可能です。

※当カタログに掲載されている製品は、除害施設などの排水処理設備のある施設でお使いください。

■生ごみの排出量および処理量の目安

		食堂･レストラン	学校給食センター	旅館･ホテル	病　院	福祉施設	事業所食堂
生ごみ発生量(単位あたり)		約140g/人･食	約80g/人･食	約650g/人･食	約300g/人･食	約300g/人･食	約110g/人･食
生ごみ総発生量	30kg/日	190食	350食	40室	100床	100人	250人
	50kg/日	300食	550食	70室	170床	170人	400人
	80kg/日	480食	900食	100室	270床	270人	600人
	100kg/日	600食	1,150食	130室	340床	340人	800人

※ 生ごみ発生量は施設の運用形態によって変化します。生ごみ処理機の処理能力選定の際は、生ごみ排出量の実測が必要です。

SPW-100　処理槽本体　オープン価格

1670 / 1470 / 735 / 1610 / 1470 / 880 / 1615 / 1720

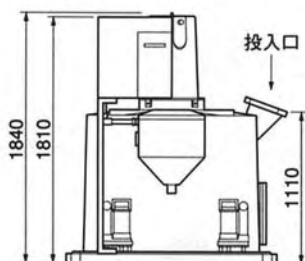
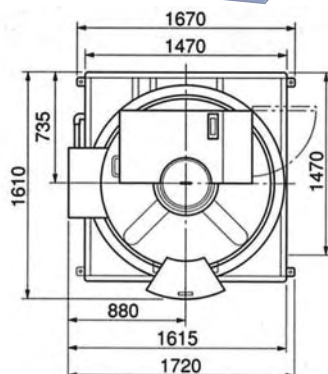
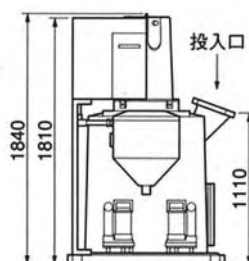
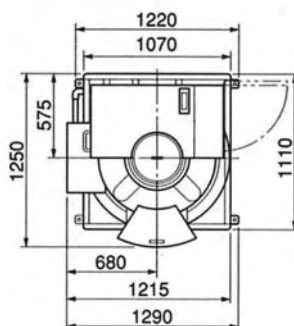
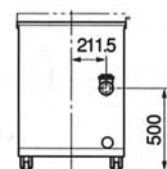
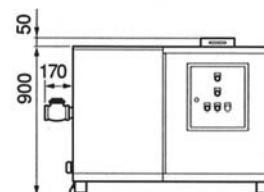
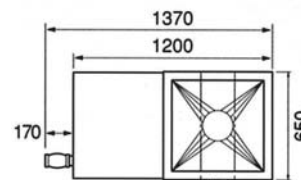
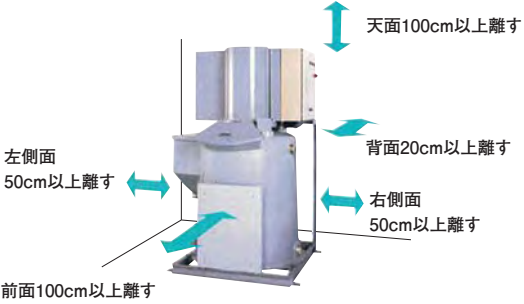
投入口

1840 / 1810 / 1110

SPW-50　処理槽本体　オープン価格

1220 / 1070 / 575 / 1250 / 1110 / 680 / 1215 / 1290

投入口

1840 / 1810 / 1110

ディスポーザーユニット　(2機種共通・標準装備)

業務用生ごみ処理機処理槽本体			
形式(50/60Hz)		SPW-100	SPW-50
希望小売価格		オープン価格	オープン価格
処理性能	処理方式	常温ウエットバイオ式(水中発酵分解による常温減容タイプ)	
	最大処理能力※	100Kg/日	50kg/日
	処理時間※	24時間(連続投入可能)	
本体仕様	標準給排水量※	約4.0トン/日	約2.0トン/日
	設置可能場所	屋内/屋外	
	本体素材	FRP3重断熱構造(制御盤除く)	
	安全対策・保護装置	かくはん停止・漏電防止・過負荷防止・投入口施錠・制御盤施錠・停電時自動復帰等	
	外形寸法(幅×奥行×高さ)	1,720×1,610×1,840(mm)	1,290×1,250×1,840(mm)
	設置必要スペース(幅×奥行×高さ)	2,720×2,810×2,840(mm)	2,290×2,450×2,840(mm)
	本体質量	約400Kg	約300Kg
	電源	三相200V	
	定格消費電力(50/60Hz)※ (凍結防止ヒーターON時)	2.66kw/4.22kw (3.08kw/4.64kw)	1.37kw/2.13kw (1.79kw/2.55kw)
	漏電ブレーカー容量	30A	

ディスポーザーユニット	
適合機種	SPW-100 / SPW-50
処理能力※	約5kg/分
必要水量※	18L/分
設置可能場所	屋内/屋外
設置条件	揚程2m以下/配管長25m以下
本体素材	ステンレス
外形寸法(幅×奥行×高さ) (逆止弁含む)	1,200×650×950(mm) 1,370×650×950(mm)
設置必要スペース(幅×奥行×高さ)	1,700×1,650×1,600(mm)
本体質量	約190kg
電源	三相200V
定格出力(50/60Hz)	2.95kw/2.95kw
定格消費電力(50/60Hz)	1.92kw/3.06kw
漏電ブレーカー容量	15A

※気温20℃で当社テスト用生ごみ(野菜・果物約66%、肉類・魚類約18%、ごはん約10%、茶殻など約6%)を処理した場合。ただし、生ごみ処理機の使用環境(温度・湿度など)および投入する生ごみの成分や量によって処理能力、処理時間、使用水量、消費電力は異なります。

設置に必要なスペース

SPW-100、SPW-50処理槽本体

・保守メンテナンス作業スペース確保のため前面は100cm以上、左右側面はいずれも50cm以上、背面は20cm以上壁などから離してください。
・天面は本体上方100cm以上の空間スペースが必要です。

天面100cm以上離す
左側面50cm以上離す
背面20cm以上離す
右側面50cm以上離す
前面100cm以上離す

ディスポーザーユニット

・生ごみ投入作業スペース確保のため、前面は100cm以上壁などから離してください。天面は本体上方65cm以上の空間スペースが必要です。
・生ごみ処理機本体との配管スペース確保のため、左側面は50cm以上壁などから離してください。

■商品ご理解のために

■商品使用上のご注意

●当カタログに掲載されている製品は、設置工事および保守メンテナンス契約が必要です。販売店・取扱企業にご相談ください。●投入できるものと投入できないものがあります。必ず分別してください。●規定量以上投入すると、故障やニオイが強くなる原因となります。●機種選定の際は必ず生ごみ排出量を実測してください。●当カタログに掲載されている製品は、除害施設などの排水処理設備のある施設でお使いください。

■カタログについてのご注意

●製品改良のため、仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。また、商品の色調は印刷のため実物とは異なる場合もありますので、あらかじめご了承ください。●当カタログに掲載された機種の中で、品切れになるものもありますので、販売店。取扱企業にお確かめのうえ、お選びください。●生ごみ処理機の補修用性能部品の保有期間は製造打切6年です。

安全に関する ご注意

●ご使用の前に取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。●業務用生ごみ処理機には電気工事および給排水工事が必要です。販売店・取扱企業にご相談ください。配線や配管等の据え付け工事に不備があると、感電や火災、水漏れの原因となることがあります。●最良の状態でご使用いただくために、当社指定のメンテナンス会社と必ず保守メンテナンス契約を結んでください。

長年ご使用の生ごみ処理機の点検を! こんな症状はありませんか?

●電源スイッチを入れても運転しない。●異音が出る。
●その他の異常や故障がある。

故障や事故の防止のため、使用を中止し、必ず保守メンテナンス契約先に点検をご依頼ください。

●ご購入の際は、購入年月日・販売店名・企業名など所定の事項を記入した「保証書」を必ずお受けとりください。
●製造番号は、安全確保上重要なものです。お買い上げの際は、商品本体に製造番号が表示されているかお確かめください。

■「オープン価格」の商品は、希望小売価格を定めておりません。価格については販売店・取扱企業にお問い合わせください。
■このカタログについてのお問い合わせは、販売店・取扱企業にご相談ください。もし、販売店・取扱企業でお分かりにならないときは、下記におたずねください。

製造・販売元
伸洋産業株式会社
〒720-0802　広島県福山市松浜町四丁目3番44
TEL.(084)924-6511(代)
FAX.(084)924-5507
URL://www.shinyoh.com/
E-mail:byron@lares.dti.ne.jp

●このカタログは、再生紙を使用しています。